

令和元年度木犀会総会の報告

去る5月18日(土)、13:30~15:00、宮崎大学附属幼稚園遊戯場で「令和元年度木犀会総会」を行いました。写真と総会しおりで報告いたします。なお、総会で御指導いただいた点は修正してあります。

【開会のことば：平原博子副会長】

【会長あいさつ：前田 稔会長】



木犀会の最大の課題は、会員の増加と三大大行事への参加者の拡大です。
 会員一人一人が周りの会員に声をかけていただき、今後も木犀会の盛会を祈念します。
 3年間ありがとうございました。

【来賓紹介】

- 顧問
 - ・ 緒方 明夫 前会長
 - ・ 日高 正博 教育学部教授
- 支部会長
 - ・ 濱砂 敬三 西諸県支部会長
 - ・ 甲斐 恵次 延岡支部会長
 - ・ 野尻 泰弘 西臼杵支部会長



【本部役員紹介：赤文字は新】



役職	氏名	卒業年	役職	氏名	卒業年
会長	橋口 玄郎	42	理事	田原 三知	55
副会長	平原 博子	32	〃	土屋 貴代	63
〃	佐藤 芳信	46	〃	日高 和広	外63
〃	中原 邦博	51	〃	山下 辰弥	62
理事	平田 睦	32	幹事	石川 優子	H3
〃	宮下 美樹子	46	〃	隈元 修一	外H2
〃	児玉 和子	47	監事	杉田 茂延	50
〃	白石 知子	50	〃	大村 利弘	51
〃	上元 麻智子	51	顧問	安田 繁	23
〃	倉永 保宏	52	〃	緒方 明夫	32
〃	木下 理	52	〃	前田 稔	40
〃	東園 二明	52	〃	日高 正博	63
〃	赤木 憲昭	54	事務局長	熊本 新一	49
〃	近藤 陽子	54			



【地区役員：赤文字は新】

地区	役職	氏名	卒業年
日南	会長	川崎 満也	36
	事務局長	伊崎 正一	35
都北	会長	西國原 吉市	37
	事務局長	原口 理香	58
西諸	会長	濱砂 敬三	42
	事務局長	衛藤 慎二	63
延岡	会長	甲斐 恵次	35
	事務局長	阿部 良雄	40
西臼杵	会長	野尻 泰弘	44
	〃	大賀 美和子	47
	事務局長	奇藤 美奈子	54

【評議員：赤文字は新】

地区	氏名	学校
宮崎(小)	川崎 伸幸	宮崎南小
東諸県	前田 俊彦	八代中
日南	串間 研之	細田中
串間	右立 晴利	大平小
都城北諸県	原口 理香	長田小
小林	衛藤 慎二	細野小
えびの	川野 裕二	加久藤小
西諸県	横田 浩	後川内小
西都西児湯	田中 幸一	三財小中
東児湯	高田 靖史	木城小
日向	富永 幸二	日知屋小
東臼杵	黒木 良昭	西郷中
延岡	濱砂 一徹	熊野江小
西臼杵	能美 廣介	宮水小
県支援学校	仲家 孝	せいらゆう

【 代議員：赤字は新 】

卒業年	氏名	卒業年	氏名	卒業年	氏名	卒業年	氏名
14-2	肥田 一郎	29	杉田 政幸	43	今村 巖	24	鈴木 妙
19	田原 郁朗	30	吉松 正雄	44	岩崎 守男	25	井手 禮子
20	上別府 允	31	森山 伸博	46	古賀 正樹	26	小川テル子
23	田爪 久遠	32	鳥原 壽夫	47	衛藤 俊士	26	小牧喜久子
23	鬼塚 昭夫	33	松田 昭十	49	上野 康弘	27	新田 蓉子
24	中村 恒夫	34	長谷 昭一	49	遠矢 良幸		
25	高島 正信	35	金丸 求	50	上野由美子		
26	徳地 市次	36	濱砂 和雄	52	笹岡 広樹		
26	岡留 徳廣	37	尾崎 太朗	13-1	内之八重京子		
27	竹本 重幸	38	宇戸 修	14-1	黒木 信子		
28	日高 篤盛	39	瀬之口隆宏	17-2	山口フミ子		
28	川村 巖	40	右松 照夫	20-1	得能 葉子		
28	鬼島 善郎	41	大重都志春	20-2	石川フミ子		



【 平成30年度会務事業報告 】



1 主要事業

① 諸会合

- 理事・幹事会・・・4/22（日） 9/ 2（日） 3/17（日）
- 平成30年度総会・・・5月27日（土） 13:30～15:30
 附属幼稚園遊戯室 総計70名の出席

- i 組織の拡充と財源の確保
 - ・ 平成26年度新入学生から準会員として2万円の会費を徴収
- ii 三大大行事の参加者の確保
 - ・ 新霊合祀慰霊祭
 - ・ 母校創立134年祝賀同窓会
 - ・ 卒業修了祝賀式&木犀会入会式
- iii 広報活動の充実
- iv 会員へ健康維持増進の支援



② 木犀会・学部連絡協議会・・・11/16（金）ホテルメリージュ



- 大学の学生カリキュラムの報告
 - ・ 教員養成の教育課程と教員採用について
- 木犀会の広報活動
 - ・ HP開設に伴う事業報告
 - ・ 会報第117号の説明

③ 新霊合祀慰霊祭・11/3(土) 11:00~



- 附属幼稚園遊戯場
- 遺族13名、来賓15名、会員49名
本部理事15名 合唱部30名
総計122名
- ※ 附属中学校の合唱が大好評でした。

④ 母校創立134周年記念祝賀同窓会・2/16(土)

- ホテルニューエルシティ宮崎 総計84名参加



⑤ 卒業祝賀木犀会入会式 3月22日(金) ホテルシェラトンコンベンションセンター



木犀大賞2名の
卒業生に副賞を
贈呈しました。



⑥ 宮崎大学ホームカミングディ

- 12月15日(土) 330記念交流会館・学生会館



⑦ 学生(準会員)・留学生への支援活動

- 採用試験前の講義・演習
 - ・ 1次・2次試験前(5/17, 7/27, 8/18)
 - ・ 参加者: 一次60名、二次80名



- 国際交流後援会(6月14日)

- ・ 交換留学生派遣と受入
- ・ 留学相談会
- ・ 木犀会との親睦事業
(ホームビジット制度)
- ・ 大学間交流促進事業
- ・ 広報活動

⑨ 地区木犀会総会

- 3月 2日・西諸県
- 3月 6日・西臼杵

- 3月 2日・都北
- 4月 7日・日南

- 3月10日・延岡



【 延岡支部総会 】



【 日南支部総会 】

⑩ 広報活動

- 会報第117号の発行（附属幼稚園遊戯場での発送作業）
 - ・ 3500部



○ HPの充実

- ・ 行事等毎に随時更新、各支部・県下の学校からの情報を広く収集し、HPに掲載してきたが、情報が少なかった。

2 会員状況

① 平成30年度終身会員加入者（数字は卒業年）

日高 義治(38)	森永 憲二(55)	東園 二明(52)	吉田 哲夫(51)	大久保芙美子(55)
吉田多美子(51)	柚木 和浩(56)			

② 卒業年度別終身会員数 令和元年 5月16日現在

計 1002名

卒業	男子	女子	卒業	男子	女子	卒業	男子	女子	卒業	男子	女子
3	1		19	4	14	35	26		51	11	4
4		1	20	16	9	36	25	7	52	7	2
5		1	21		15	37	37	3	53	2	2
6		1	22	18		38	25	5	54	6	2
7		1	23	25	25	39	23	5	55	4	1
8	2	1	24	29	26	40	33	6	56	3	2
9		1	25	12	22	41	33	6	57	1	1
10		1	26	19	12	42	14	5	58		
11		1	27	7	7	43	16	3	59		2
12		4	28	26	6	44	13	3	60		
13	1	3	29	32	4	45	13	5	H28	2	2
14	3	11	30	29	4	46	23	10	H29		2
15		5	31	32	5	47	13	11	H30	11	12
16	2	8	32	26	4	48	8	4	H31	5	9
17	1	8	33	15	9	49	7	5	計	685	317
18	3	6	34	28	3	50	11	5	総計	1002	

③ 準会員

学部4年生	学部3年生	学部2年生	学部1年生	計
24	59	55	49	186

3 平成30年度特別寄付篤志者

番号	卒業年	御 芳 名	番号	卒業年	御 芳 名	番号	卒業年	御 芳 名
1	6	青木 ヲク	37	25	石塚 敦子	73	34	飛田 博温
2	14	肥田 一郎	38	25	緒方 安治	74	34	岩崎 明
3	15	吹井 ミチ	39	25	櫻木昭・トキ	75	35	宇田津一郎
4	15	佐々木 紘一	40	25	鈴木 郁子	76	35	小池 洋子
5	17	山口フミ子	41	26	谷口 中	77	36	猪八重 赳
6	18	酒井 宗喜	42	26	梅野 恭一	78	36	内藤 泰夫
7	19	山野チエ子	43	26	岡留 徳廣	79	36	阿部 忠志
8	19	渡部 幸子	44	26	村上 ノブ	80	36	岩佐 正昭
9	20	上別府 允	45	26	森迫謙四郎	81	36	安部千恵子
10	20	得能 葉子	46	26	徳地 市次	82	37	松島 兼孝
11	20	橋本 宣子	47	27	吉岐 英子	83	38	東 暎
12	20	河瀬 史郎	48	27	竹本 重幸	84	39	飯野 修
13	20	吉村タマ子	49	28	甲斐 亮典	85	39	新名 弘之
14	20	内田 浩文	50	28	竹下 妙子	86	40	前田 稔
15	21	伊藤 武子	51	28	小松 忠志	87	40	大倉 雅之
16	21	出水トシエ	52	28	西中須ツギヨ	88	40	右松 照央
17	21	飯干 キヨ	53	29	橋本 博行	89	40	税田 敏明
18	21	岩崎 嘉子	54	29	長濱 隆興	90	41	大重都志春
19	21	前田 久子	55	29	馬原 克久	91	41	三阪 睦子
20	22	田植 豊實	56	29	渡會 武徳	92	41	岩元 勝也
21	23	鬼塚 昭夫	57	29	杉田 政幸	93	42	大川 直子
22	23	内永 リツ	58	30	児玉 耕一	94	42	橋口 玄郎
23	23	田爪 久遠	59	31	藤原 正	95	43	柿木 衛護
24	23	西野きくを	60	31	坂元 輝雄	96	44	菊池 紘之
25	23	栗田 淺則	61	31	井上 剛一	97	44	野尻 泰弘
26	23	甲斐登美子	62	32	鳥原 壽夫	98	45	猪俣不二夫
27	23	寺岡寅彦・チサ	63	32	松元 富子	99	45	岩切 徹志
28	23	中村 恒夫	64	32	児玉 憲郎	100	46	永友 康久
29	23	河野 威	65	33	宮内 文子	101	46	佐藤 芳信
30	24	瀬越チエ子	66	33	濱砂 源	102	47	税所 厚子
31	24	山許 四子	67	33	田中 洋子	103	49	梅田美知子
32	24	山下 節子	68	34	吉本 博	104	49	日高美智子
33	24	土持 彰敏	69	34	菊池 武志	105	平18	中山 光輝
34	24	前田 聰	70	34	津島 修	106	平30	森 夕希子
35	24,21	外林淳・葉子	71	34	海老原 茂	107		
36	25	江島 洋子	72	34	野津 礼子	108		



橋口玄郎（みちろう）新会長、中原邦博新副会長、近藤陽子新理事、日高和広新理事の自己紹介もありました。木犀会も橋口丸の発進となりました。よろしくお願ひします。

4 平成30年度会計決算報告

① 一般会計

○ 収入

項目	当初予算A	更正予算B	増減(B-A)	備考
繰越金	190,304	190,304	0	昨年度と-96,051円
会費	2,980,000	2,832,660	-147,340	終身会員 7名(69,140円) 現職会員 1681名(手数料 1,643,520円) 新入生準会員 55名(1,100,000円) 30年度卒業生 1名(20,000円)
雑収入	1	6	5	受取利息
定額満期	0	877,615	877,615	10年定額預金85万円満期
合計	3,170,305	3,900,585	730,280	

○ 支出

項目	当初予算A	決算B	増減(A-B)	備考
総会費	130,000	110,712	19,288	総会旅費日当等(支部長、評議員、代議員)
会議費	150,000	82,308	67,692	理事会・幹事会等交通費
行動旅費	100,000	89,000	11,000	役員・会報担当行動費
手当費	1,200,000	1,200,000	0	事務手当
通信費	400,000	371,051	28,949	会報発送、諸文書発送、葉書、切手、電話
営繕費	12,000	7,686	4,314	事務室電気料
消耗品費	140,000	127,817	12,183	事務用品(封筒、用紙、トナー)
広報費	350,000	311,904	38,096	会報印刷、HPのホスティング料
慰霊祭費	100,000	77,510	22,490	新霊合祀慰霊祭
記念日費	150,000	150,000	0	母校創立134周年記念祝賀同窓会
入会式費	130,000	120,000	10,000	卒業祝賀式&木犀会入会式
弔意費	9,000	18,200	-9,200	終身会員弔意・弔電・葬祭場との連絡費等
学生支援費	250,000	281,922	-31,922	学生諸活動、就職、国際交流等支援
役務費	45,000	30,183	14,817	会報発送日の弁当、お茶、交通費等、職員録
福利厚生費	4,000	3,624	376	労働保険
積立費	0	800,000	-800,000	10年満期定額預金へ
諸雑費	305	0	305	
予備費	0	0	0	
合計	3,170,305	3,781,917	-611,612	

更正予算B 3,900,585 - 決算B 3,781,917 = 118,668

残金 118,668円は31年度に繰り越します。

2 特別会計

○ 収入

29年度繰越	1,128,408
同窓会費戻入	155,324
特別寄付金等	455,600
預金利息	10
計	1,739,342

○ 支出

金木犀倒木処理	30,000	
大学と交流行事	38,000	
行事等補助	300,000	記念同窓会
パソコンプリンター	92,816	
パソコン管理費	257,904	
パソコンソフト	24,278	
計	742,998	

収入 1,739,342円 - 支出 742,998円 = 残金 996,344円

残金 996,344円は31年度に繰り越します。

会則第6条に基づき、通帳並びに会計表簿を精査したところ、平成30年度の会計執行は公正に処理されていることを認めます。

平成31年4月16日(火)

監事

杉田茂延 

監事

大村利弘 

【 令和元年度会務事業大綱 】

1 活動方針

- ① 組織の拡充・強化……終身会員の勧誘、終身会員・現職会員・準会員とのネットワークの構築
- ② 準会員へ支援の充実……就職支援、顕彰制度の充実、研修情報の提供、留学生支援
- ③ 広報活動の充実……会報第118号の充実、HPの内容の充実
- ④ 会員へ健康維持増進の支援

2 事業大綱

月	日	曜	行事内容	時刻	会場
4	16	火	会計監査	18:30~	木犀会館
	21	日	第1回理事会・幹事会	16:00~	木犀会館
5	18	土	令和元年度木犀会総会	13:30~	附属幼稚園
6	12	水	国際交流後援会総会	15:00~	宮崎大学
7	下旬		教職採用第2次試験対策支援活動	9:00~	宮崎大学
8	中旬		教職採用第2次試験対策支援活動	9:00~	宮崎大学
9	1	日	木犀会会報第118号発行作業	9:00~	附属幼稚園
	1	日	第2回理事会・幹事会	13:00~	附属幼稚園
10	5	土	ホームカミングデイ	10:00~	宮崎大学
	18	金	学部との連絡協議会	18:00~	ニューウエルシティ宮崎
11	2	土	令和元年度新霊合祀慰霊祭	11:00~	附属幼稚園
12					
1			第3回理事会・幹事会		木犀会館
2	28	金	第135周年記念祝賀同窓会	11:00~	ニューウエルシティ宮崎
3	15	日	第4回理事会・幹事会	9:30~	木犀会館
	19	金	宮崎大学卒業・修了祝賀式(予定)	11:00~	ホテルシエラトン

3 会報第118号編集発行計画

- 会報発行の「ねらい」(目的)
 - ・ 「木犀会報」を会員の皆様方により親しんでいただき、さまざまな情報を共有し、会員同士の絆がますます強まっていく一助となることを願います。
 - ・ かつて学んだ「学舎」に思いを馳せると、誰でもが様々な思い出に浸ると思います。それぞれの思い出に浸ることによって、「母校意識」も高まるのでは、と期待しています。
 - ・ 令和元年度・編集内容はほぼ同じとして、創意を凝らして編集する。

○ 発行計画

- ・ 会報委員会……………4月中旬
- ・ 原稿依頼者等への依頼文・原稿用紙等の送付……………5月上旬
- ・ 原稿〆切……………6月下旬
- ・ 原稿の整理……………7月上旬
- ・ レイアウト・割り付け……………7月上旬
- ・ 印刷所へ(レイアウト・原稿・写真・カット等)……………7月上旬
- ・ 初校……………7月下旬
- ・ 二校……………8月上旬
- ・ 発行……………9月1日(日)

○ 内容

- ・ 巻頭言
- ・ 会員だより
- ・ 新規採用
- ・ 役員名
- ・ 予算・決算等
- ・ 慶弔等
- ・ 新木犀会員名
- ・ 文芸
- ・ 編集後記
- ・ 報告
- ・ その他

4 HPの充実

- 木犀会の活動状況を随時更新し、情報提供を図る。
 - ・ 大学との連携、現職・準会員との連携し、記事の収集に当たる。

5 令和元年度新霊合祀予定者（令和元年 5月15日現在）

卒業年	御 芳 名	逝去月日	遺 族	卒業年	御 芳 名	逝去月日	遺 族
14	中川原スミノ	31. 3. 24	次男：啓督	28	谷 口 幸 平	31. 3. 1	妻：ミチ
15	吹 井 ミ チ	31. 2. 20	夫：喜一郎	29	落 合 利 幸	31. 4. 17	妻：ヨシ
18	濱 田 敏 子	30. 10. 26	姪：喜美代	29	西 田 藤 雄	31. 1. 19	
19	比江島安喜子	31. 1. 1	甥：一臣	29	原 口 晴 海	31. 2. 11	
20	日 高 利 雄	30. 10. 20	妻：笑子	29	新 増 松 雄	31. 2. 12	
20	近 藤 文 雄	30. 10. 22	妻：トシ子	29	佐 保 守 敏	27. 2	妻：恵子
20	相 良 正 男	31. 1. 7		29	白 井 哲 日 子	30. 12. 28	
21	首 藤 三 代 子	30. 10. 9		29	今 村 良	31. 1. 7	
22	横 山 忠 夫	30. 12. 27	長男：延郎	30	米 田 温 則	30. 11. 28	妻：ミカエ
22	清 水 宏	30. 1. 3	長男：信光	30	森 下 幸 雄	31. 2. 24	妻：絹子
22	児 玉 功	30. 4. 27		31	町 田 胤 夫	30. 12. 19	
23	重 久 四 男	30. 11. 15	娘：奥野菜奈	33	清 山 美 利	30. 10. 9	妻：紘子
23	森 山 三 郎	30. 10. 4	妻：クニ子	33	野 邊 重 美	30. 11. 24	
23	浜 砂 ツヤ子	31. 3. 10	長男：育夫	33	徳 満 和 良	31. 1. 4	
23	寺 岡 子 サ	31. 3. 29	夫：寅彦	33	小 早 川 浩 一	令1. 5. 1	妻：由紀子
24	楠 見 武 文	30. 12. 24	妻：和子	34	石 黒 公 雄	31. 1. 19	
24	松 本 房 子	30. 11. 21	長男：哲郎	34	倉 田 昇 久	31. 3. 13	妻：昭子
24	井 脇 敏 雄	31. 3. 13	妻：好子	35	山 本 昌 紀	30. 12. 26	
24	田 中 正 吉	31. 3. 19	妻：寿恵子	36	高 山 和 男	30. 12. 25	
24	櫻 田 信 男	31. 4. 1	妻：よし子	36	阿 部 忠 志	31. 2. 27	長男：智尚
25	細 田 豊	31. 3. 15	長男：誠	36	川 越 義 一	31. 4. 18	島：千枝子
26	中 原 和 加 子	31. 12. 31	長女：小濱聡子	37	鎌 田 芳 郎	31. 2. 10	
26	井 上 晟	30. 12. 7		38	金 丸 明 義	30. 11. 30	妻：賀子ヨシコ
27	鶴 田 フサ子	31. 1. 28	舅(外)	39	日 高 亮	31. 1. 10	牧子
28	後 藤 寿 延	30. 11. 26	妻：郁子	41	佐 藤 皓 一	30. 12. 25	
28	田 代 公 宏	30. 10. 1	妻：紘子	55	安 部 多 賀 幸	31. 1. 24	
28	那 須 勇 郎	31. 2. 5			永 峰 秋 雄		(都城市高城町)

6 令和元年度会計予算（案）

○ 収 入

項 目	30年度決算A	31年度予算B	増減 (B-A)	備 考
繰 越 金	190,304	118,642	-71,662	
会 費	2,832,660	2,630,000	-202,660	終身会員 10名 (100,000円) 現職会員 1600名 (手数料 1,550,000円) 新入生準会員 49名 (980,000円)
雑 収 入	6	1	-5	受取利息
定額満期	877,615	0	-877,615	
合 計	3,900,585	2,748,643	-1,151,942	

○ 支 出

項 目	30年度決算A	31年度予算B	増減 (B-A)	備 考
総 会 費	110,738	110,000	-738	総会旅費日当等 (支部長、評議員、代議員)
会 議 費	82,308	80,000	-2,308	理事会・幹事会等交通費
行 動 旅 費	89,000	60,000	-29,000	役員・会報担当行動費
手 当 費	1,200,000	1,200,000	0	事務手当
通 信 費	371,051	340,000	-31,051	会報発送、諸文書発送、葉書、切手、電話
営 繕 費	7,686	8,000	314	事務室電気料
消 耗 品 費	127,817	90,000	-37,817	事務用品 (封筒、用紙、トナー)
広 報 費	311,904	310,000	-1,904	会報印刷、HPのホスティング料
慰 霊 祭 費	77,510	70,000	-7,510	新霊合祀慰霊祭
記 念 日 費	150,000	100,000	-50,000	母校創立135周年記念祝賀同窓会
入 会 式 費	120,000	120,000	0	卒業祝賀式&木犀会入会式
弔 意 費	18,200	7,000	-11,200	終身会員弔意・弔電・葬祭場との連絡費等
学 生 支 援 費	281,922	220,000	-61,922	学生諸活動、就職、国際交流等支援
役 務 費	30,183	30,000	-183	職員録、会報発送関係費、
福 利 厚 生 費	3,624	3,624	0	労働保険
積 立 費	800,000	0	-800,000	
諸 雑 費	0	19	19	
予 備 費	0	0	0	
合 計	3,781,943	2,748,643	-1,033,300	

【 令和元年度総会の様子 】



【 閉会のことば：平原博子副会長 】



前日から、県北・県南地区では400ミリを超える大雨が降り、土砂災害が報告されています。

総会当日も雨で足下の悪い中、急な欠会者も出る中、来賓5名、評議員7名、代議員15名、委任状43名と本部理事17名で総会が開催されました。

木犀会は、新規終身会員加入者の会費（10,000円）、現職会員の年会費（1,000円）、学部入学生の準会員加入費（20,000円）で運営されていますが、終身会員の新規加入や現職会員の会費納入の減少により、年々厳しくなっています。そこで、終身会員の先生方に会報発送時に「特別寄付」をお願いし、その寄付を頼みに「母校創立記念同窓会」を開催しています。

本部の運営費を切り詰めるために、各地区の校長代表である「評議員」の先生方に、**各学校の会員数・代表者名の掌握と会費の徴収・領収証の発行・事務局への払込**をお願いすることになりました。校務御多忙な中で木犀会のために御苦労いただくこととなり、大変心苦しく思っています。木犀会が存続していくために、会員の先生方の木犀会への所属意識を高め、会員同士の絆を深める努力と工夫をしていくことを強く思った総会でした。